

中期経営計画

Global Departure 2021

Final phase

2020年5月18日



目 次

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 2020年3月期の業績
4. 中期経営計画（3ヶ年：2021年3月期～2023年3月期）
5. 環境負荷低減への取り組み
6. その他経営課題への取り組み
7. 株主還元方針

1. 会社概要

社 名	大成ラミック株式会社
市場・コード	東証一部、4994
所在地	埼玉県白岡市下大崎873番地1
代表者	代表取締役社長 木村 義成

設 立	1966年3月22日（昭和41年）
資本金	3,426,246,500円
連結従業員	846名
グループ会社	連結子会社 3 社（国内1社、国外2社）

国内事業拠点

- ★ 本社・製造 1 拠点
 - ◆ フィルム製造 2 拠点
 - ▲ 開発拠点
 - ▼ 機械製造拠点
 - 西日本機械サービス拠点
 - 営業拠点（7拠点）
- 埼玉県 白岡市
- 新潟県
- 岡山県

新潟事業所



星川DANGAN'S STUDIO



本社・白岡第一工場



白岡第二工場



白岡第三工場



岡山DANGAN'S STUDIO



海外事業拠点

- 米 州（営業 2 拠点）
- 韓 国（営業 1 拠点）
- マレーシア（営業・製造 1 拠点）

Taisei Lamick USA
シカゴ本社



韓国支店



Taisei Lamick USA
ロサンゼルス営業所



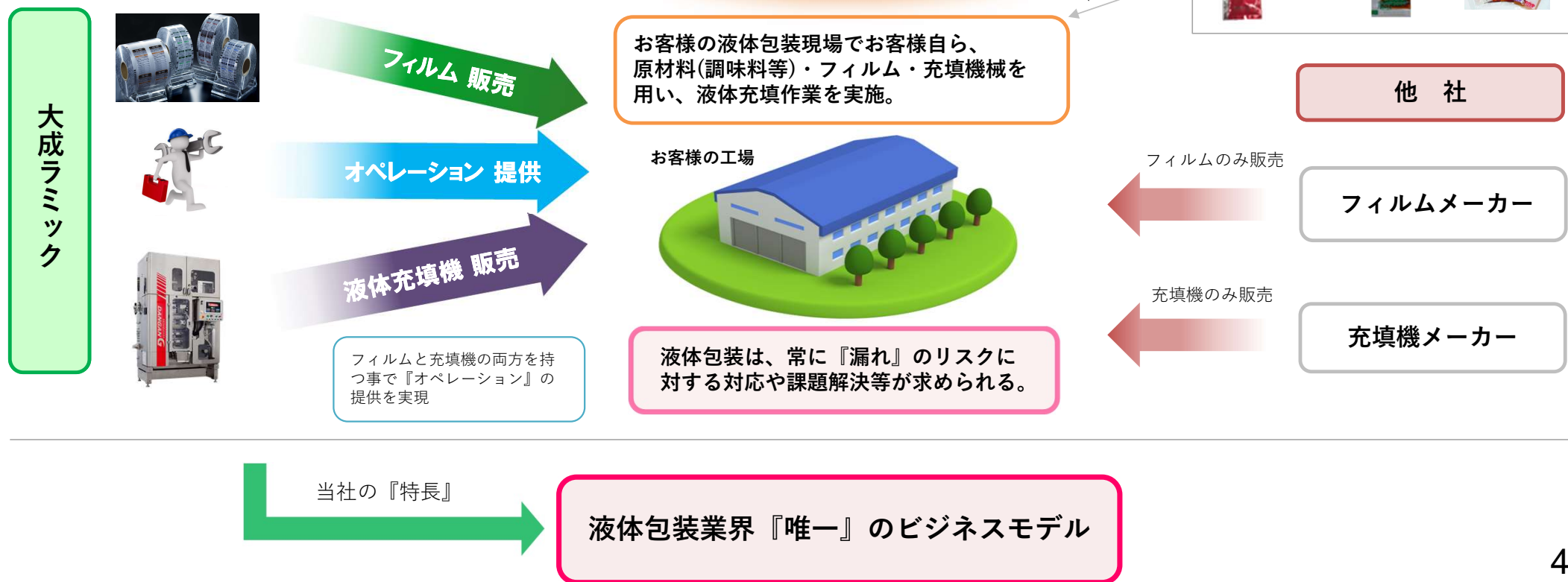
Taisei Lamick Malaysia

2-1. 事業概要

ミッション
(使命)

私たちは、液体包装の分野において、たゆまぬ研究と実践で培ったノウハウを、『安全、安心、便利』そして『持続可能な社会の実現』のために提供し続けます。

● ビジネスモデル



2-2. 事業概要

● 包装フィルム：分類構成（国内）

食 品	売上高の	約90%
非食品	売上高の	約10%
※ 食 品：調味料などの液体小袋包装用フィルムが中心。 ※ 非食品：詰替え用洗剤、サンプル化粧品など		
お得意様 (国 内)		約900社
商品アイテム数		約13,000種

● 液体充填機：『DANGAN』シリーズ

➢ 国内最速を誇るハイエンドモデルからミドルレンジまでラインナップの充実



● オペレーション：お客様への充填サポート

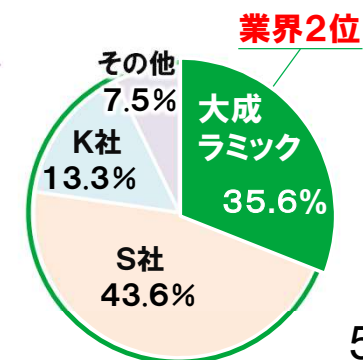
- サービスエンジニア派遣によるトラブル解決およびメンテナンス
- 液体充填スクールを定期的開催し、オペレーター育成をサポート
- DANGANをインターネットに繋ぐことにより、リモートメンテナンスや充填サポートなど様々な新サービスを提供（開発中）

● マーケットシェア（国内）：フィルム



● マーケットシェア（国内）：充填機械

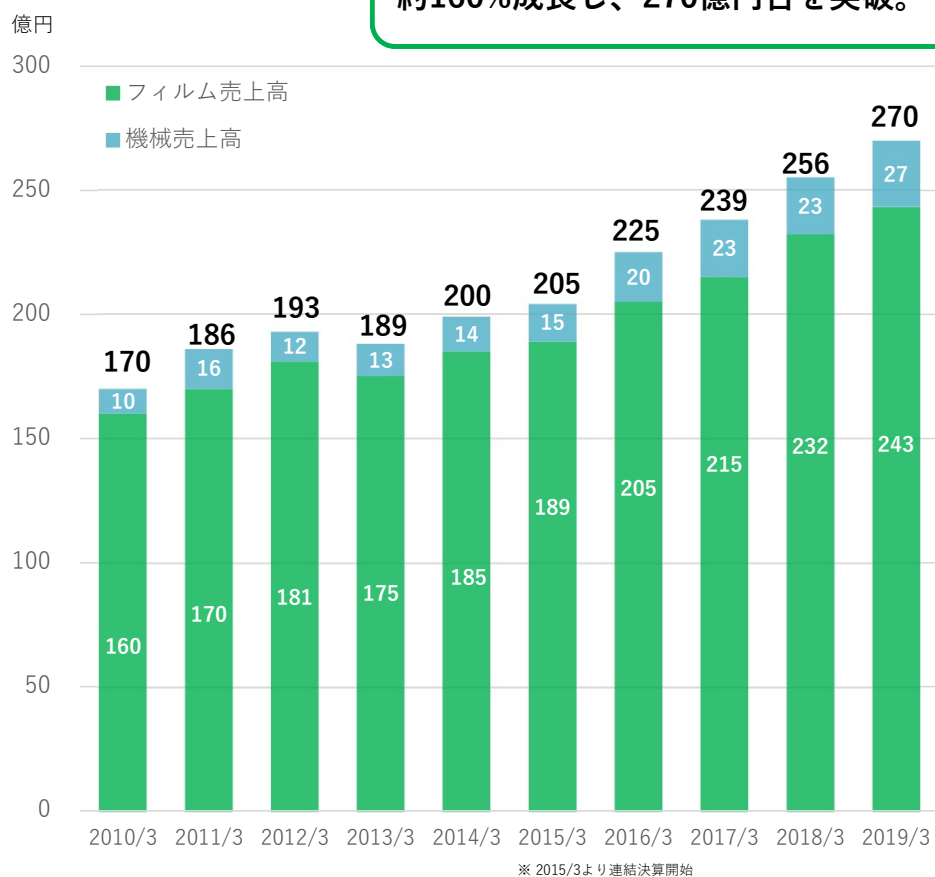
市場規模：約45億円
年間販売台数シェア：35.6%



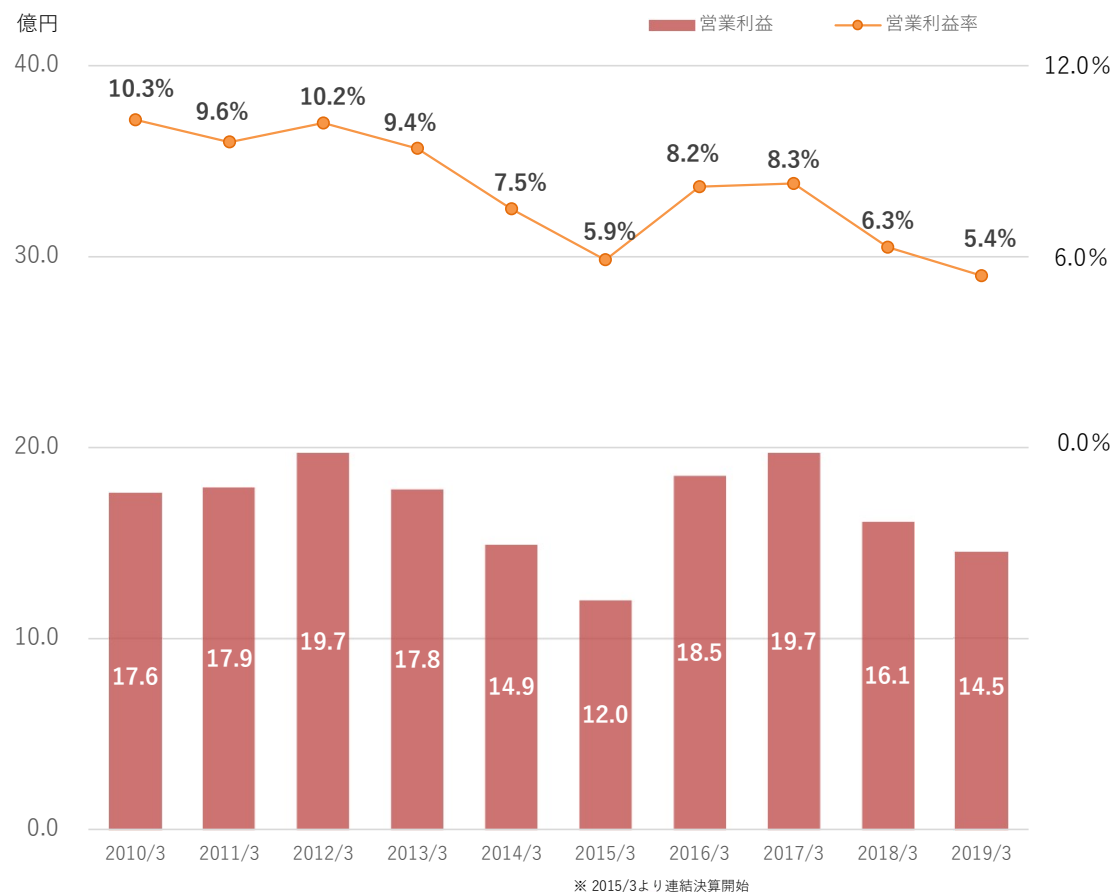
2-3. 事業概要：連結業績の推移(過去10年間)

● 連結売上高の推移

2010/3から2019/3までの10年間で
約160%成長し、270億円台を突破。



● 連結営業利益・率の推移



3. 2020年3月期の業績

● 連結業績（前期対比）

単位：億円、%

	2019年3月期		2020年3月期		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	270.4	100.0	264.9	100.0	△5.5	△2.0
フィルム	243.0	89.9	239.7	90.5	△3.3	△1.4
機 械	27.4	10.1	25.1	9.4	△2.2	△8.1
営業利益	14.5	5.4	17.6	6.6	+3.0	+21.2
経常利益	14.8	5.5	17.2	6.5	+2.3	+16.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	9.7	3.6	11.0	4.2	+1.2	+13.1
1株当たり当期純利益（円）	141.07	—	159.54	—	+18.47	—

● 地域別売上高（前期対比）

単位：億円、%

	2019年3月期		2020年3月期		増 減		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成差
国内売上高	230.8	85.3	223.4	84.3	△7.3	△3.2	△1.0
海外売上高計	39.6	14.7	41.5	15.7	+1.8	+4.7	+1.0
米 州	19.8	7.4	20.0	7.5	+0.1	+0.5	+0.1
東アジア	9.0	3.3	8.2	3.1	△0.8	△8.8	△0.2
ASEAN	10.7	4.0	13.2	5.0	+2.5	+23.4	+1.0

増減ポイント

● 売上高：対前年比 △5.5億円 △2.0%

<部門別売上高>

■ 包装フィルム部門 対前年比 △3.3億円 △1.4%

国内：夏物商品の出足が好調であったものの、その後の天候不順や市場環境の変化に加え、足腰の強い利益重視の売上構成の追求により減収。

海外：為替における円高進行等があった一方、前期に稼働したASEAN(マレーシア)の受注回復等により堅調に推移。

■ 包装機械部門 対前年比 △2.2億円 △8.1%

国内：設備投資需要の低迷や新型コロナウイルス等による商談・設置時期の遅延を受けて減収。

海外：新型コロナウイルス等による設置時期の遅延があったものの、ASEANでの新規顧客の開拓等により増収。

● 営業利益：対前年比 +3.0億円 +21.2%

国内の原材料値下げ及び液体小袋への集中と選択による影響

原材料値下げ影響に加え、前期より取り組んでいた販売価格の見直し効果、働き方改革に伴う生産体制の見直しやコスト削減活動等により利益が増加。

4-1. 2021年3月期の計画

<55期実績>

減収・増益

<56期予算>

微減収・減益

財務的体力を維持しつつ
将来に向けた先行投資など
前向き費用を拡大

但し

先行投資等の前向き要因
を除くと
ほぼ横ばい

264億円

17億円

6.6%

263

14

5.7

17

+3

6.7

売上高 営業利益
55期

売上高 営業利益
56期

営業利益

将来の成長を支える先行投資

➤ 成長を支える投資費用 + 2億円

➤ リソースに関わる費用
(人員確保等) + 1億円

+ 3億円

4-2. 中期経営計画(3ヶ年):中期KPI計画(重要業績指標)

2023年3月期目標(3年後)

① 連結売上高

288億円 (+24億円)

※ () : 2020年3月期対比

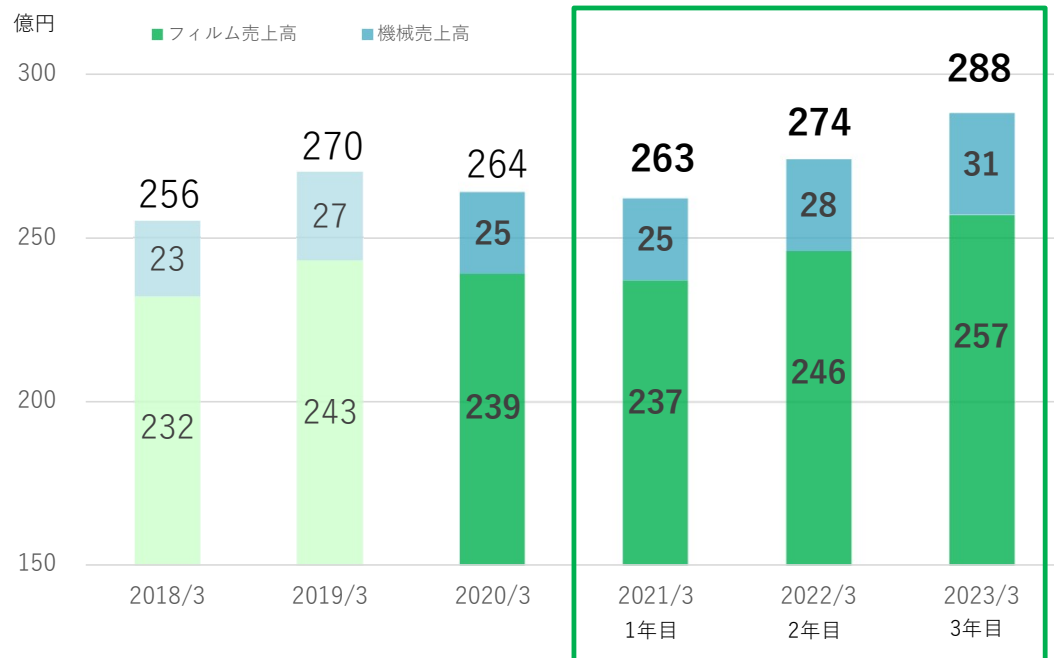
② 連結営業利益 連結営業利益率

18.5億円 (+0.9億円)
6.4% (△0.2%)

※ () : 2020年3月期対比

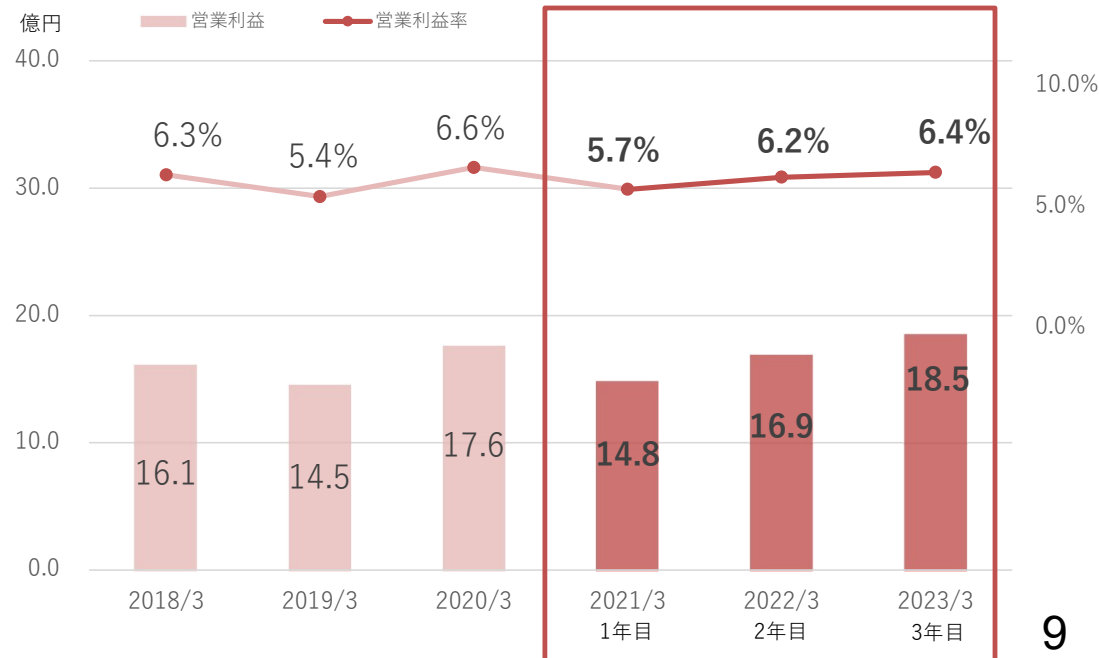
① 連結売上計画

3ヶ年計画



② 連結利益計画 (営業利益)

3ヶ年計画



4-3. 中期経営計画(3ヶ年):グループ経営戦略方針

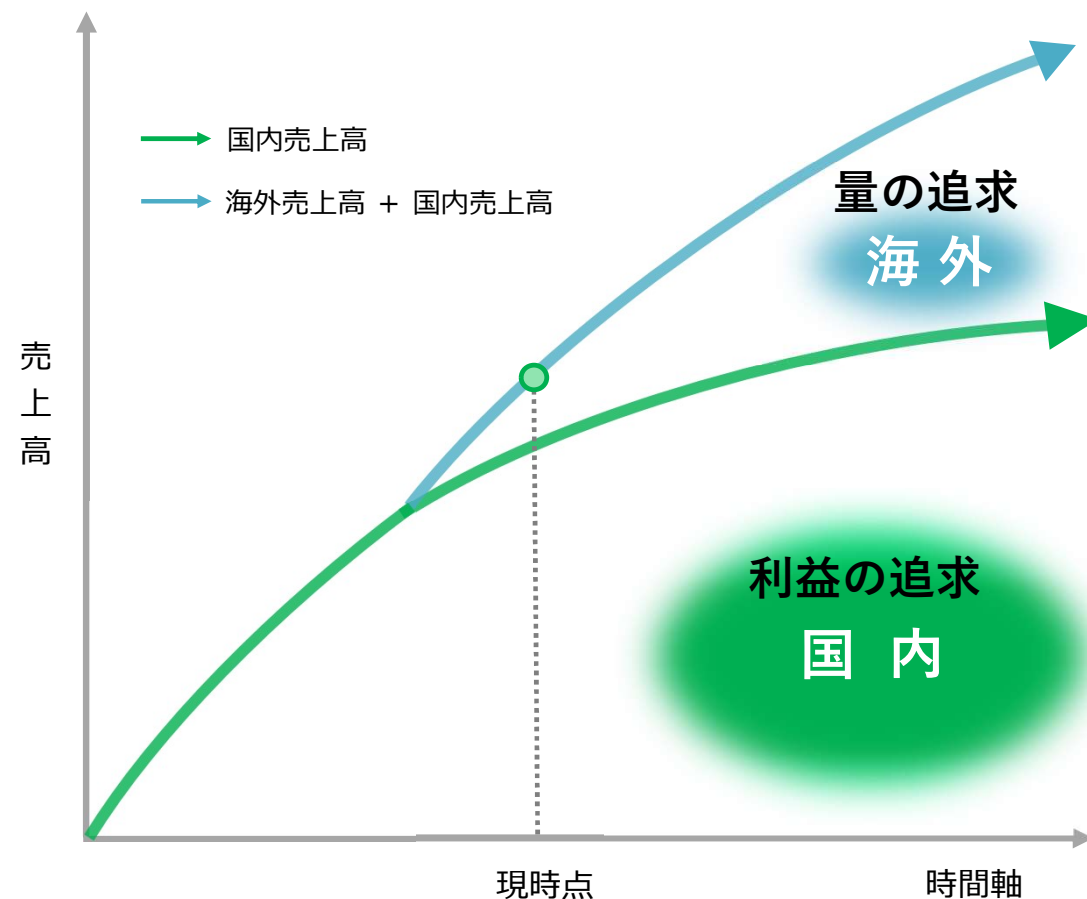
国内

グループ経営の収益基盤として、安定成長を目指し、競争優位性のある商品開発や付加価値の高いサービスの構築を進め、顧客満足度の向上に努める。

海外

新たな成長戦略の柱として位置づけ、スピード感を重視した具体的な戦略を構築し、積極的な拡販を進める。

《目指す成長の姿》



4-4.【国内】の主な取組み

Global Departure2021

2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年

外部環境

インバウンド需要の高まり

原油価格の高騰

原油価格の低下

働き方改革

環境意識の高まり

記録的猛暑

冷夏・長梅雨

原材料の供給不安

新型コロナウイルス

生産体制の
見直し等により
残業時間 26%減

内部施策

各地域の営業
サービス拠点の充実

名古屋・福岡支店
デモルーム化

東京営業部
開設

岡山DANGAN'S
STUDIO 開設

星川DANGAN'S
STUDIO 開設

集中と選択

液体小袋を軸に
利益の追求

適正価格の確保

設備投資の抑制

ベースの収益力を維持・改善

■ 売上高
■ 営業利益
○ 営業利益率

4-5.【国内】の今後の取り組み

強みである「液体小袋」を軸に

利益最大化への取り組みの継続

～集中と選択の更なる深化～

利益の追求

労働環境課題の対応を含め、
これまでの取り組み（人員・設備・技術）を
最大限に活かし、
生産体制・人員配置の効率化を深化します。

収益管理の
高度化

拡大
設備投資の
回避

生産性
向上

人材戦略の
高度化

コスト
マネジメント
の徹底

新たな付加価値の創出

外部環境とともに変化する
社会課題・顧客ニーズを的確に捉え、
新たな付加価値を追求し、
社会課題の解決と顧客満足度の向上を図ります。

個食化

食品ロス

石油資源の
枯渇

新包装形態
の開発

消費期限の
延長

環境対応
フィルム

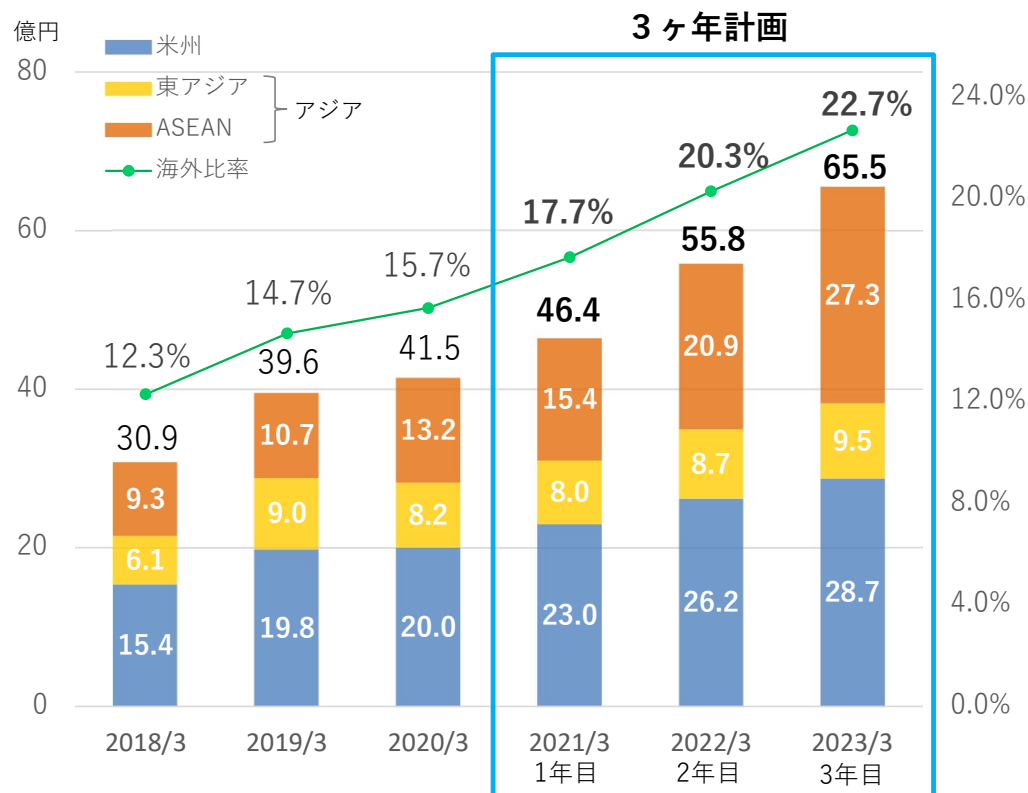
4-6.【海外】の今後の取組み

● 海外売上計画

海外売上高
海外売上高比率

65.5億円 (+24.0億円)
22.7% (+7.0%)

※ () : 2020年3月期対比



● 海外地域別戦略の基本方針

- 海外は、それぞれ異なる国・文化・環境等があるため、当社が確立してきた“ビジネスモデル”を各ローカルマーケットの環境にあわせ、適合構築・浸透・確立を段階的に行っていく。

- グローバル経営とローカル経営の融合である

『グローバル経営』を目指す。

● 主な取組み

米州

更なる拡大成長と現地生産に向けた準備へ

- 現地のニーズに即した新機種の開発・販売
- 米国工場（現地生産）立上げに向けた見極め

東アジア

韓国拠点開設によるもう1段のステージアップ

- 支店の開設（2019年5月）による更なる拡販
- SE体制の現地化によるサービスの向上

ASEAN

ASEAN液体包装市場の実態に合わせた

ローカル戦略の構築・推進

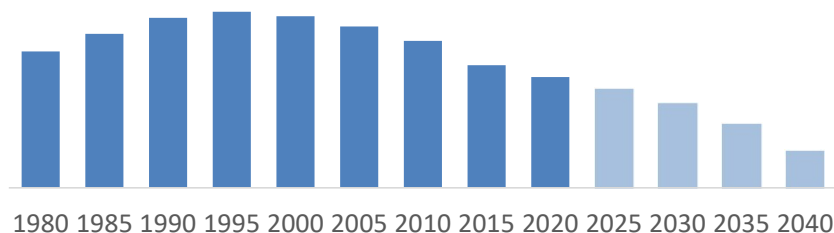
4-7.【新分野】の取り組み

お客様の抱える課題

労働力 確保

- 国内労働人口の減少
- 働き方改革による労働量の制限

労働人口の推移 情報元：総務省



スキル 開発

- 内容物の多様化による充填技術の高度化



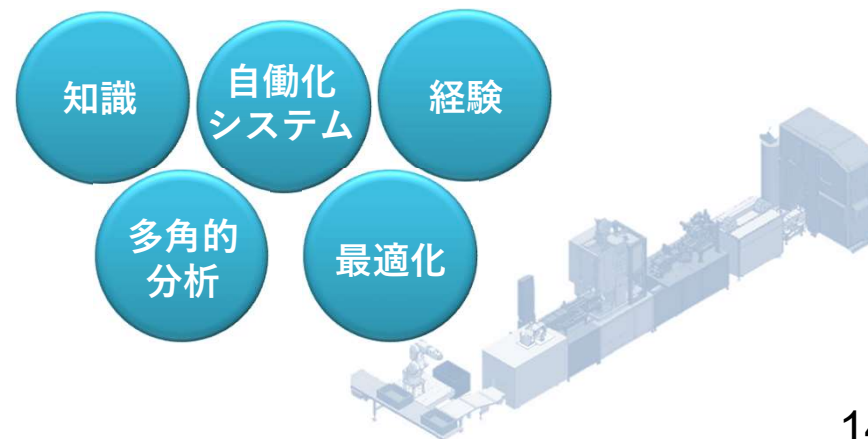
課題解決策の決定打が不在

当社だからこそできる更なる課題解決へ

ソリューションの創出

自動化システムをはじめ
これら未解決課題に対する
新たなソリューションの構築に挑戦

液体包装に関する知識・経験を活かした
大成ラミックらしい解決策づくりを
検討・推進することで
新たなビジネスモデルを構築します。



5-1. 環境負荷低減への取組み①

● 当社における取組み

■ CLOMA*等の業界活動への参画、業種を超えた相互連携による環境問題解決を推進

*「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」
海洋プラスチックごみ問題の解決を目的とした団体



■ 県条例等に対応した VOC処理装置※を白岡第1～3工場全てに導入

※ Volatile Organic Compounds：揮発性有機化合物
処理装置：大気汚染防止法並びに埼玉県条例により、主に光化学スモッグに対応した設備

VOC処理装置



太陽光発電設備



■ 白岡第2工場へ 太陽光発電設備を導入

■ 廃棄物の削減

廃棄物リサイクル率 99.9%以上を維持
(参考：2003年度は約50%)

ゼロエミッションの推進



■ CO₂ 排出量の軽減活動として モーダルシフト（鉄道貨物輸送）の導入



モーダルシフト



※ エコレールマークの認定
(2015年2月：国土交通省より認定)

5-2. 環境負荷低減への取り組み②

● 当社の製品における対応

■ 石油資源の枯渇問題

環境負荷の少ない包装材料のバイオマス化

液体包装に求められる機能を兼ね備えた
環境に配慮された原料を活用した
複合フィルムを順次開発中



バイオマスインキ

バイオマスPE

バイオマスナイロン

バイオマスPET



■ 食品ロス問題

レトルト殺菌対応を実現する
小袋専用フィルムを新規開発中

(例：レトルト殺菌対応小袋包装へ→ 保存期間の延長)

新包装形態の開発推進による
個食化ニーズへの対応

(例：ボトルから小袋包装へ→ 未使用廃棄の食品ロスの軽減)

食品廃棄を
低減する
小分け・使い切り
ニーズの高まり



多様な内容物が充填可能な自立性のある
小袋“インストパウチ”好評販売中



6-1. 食の安全への取り組み

■ フードディフェンス(食品防御)対応として **FSSC22000**を取得

※FSSC22000：The Foundation of Food Safety Certification（食品安全認証財団）
概要：国際規格であるISO22000(食品安全マネジメントシステム)に、
フードディフェンス(食品防御)強化を盛り込んだシステム

本社第2工場（取得日：2016年4月）



Taisei Lamick Malaysia Sdn.Bhd.（取得日：2019年10月）



食 品 安 全 方 針

- 当社は、フードチェーンの一端を担う食品包装メーカーとして、
安心と安全の製品を提供し、社会に貢献する。

※ 食品の一次生産から販売に至るまでの食品供給の行程のことをいう。

- 当社は、法令・規制要求事項およびお客様の要求事項を遵守し、
仕入先に対しても法令・規制要求事項の遵守を求める。

- 当社は、食品安全方針を全従業員に周知し、
各部署の目標達成に向けて具体的に展開する。

- 当社は、食品安全システムの適切性を継続的に見直し、
改善を実施する。

6-2. その他経営課題への取組み

ダイバーシティの推進

■ 障がい者雇用促進のため柏農園の開設



当社では、より一層の障がい者雇用促進のため、2017年9月に千葉県柏市に農園を開設しました。

■ 埼玉県が推進する「多様な働き方実践企業」にてゴールド認定を取得



健康経営

■ 健康経営優良法人2020（大規模法人部門）に認定



すべての社員が明るく幸せな未来を築くために
会社・産業医・保健師・健康保険組合が連携し、
健康増進の取り組みを積極的に実践してまいります。

地域貢献

■ 浦和レッズダイヤモンドズの プレミアムパートナー契約締結

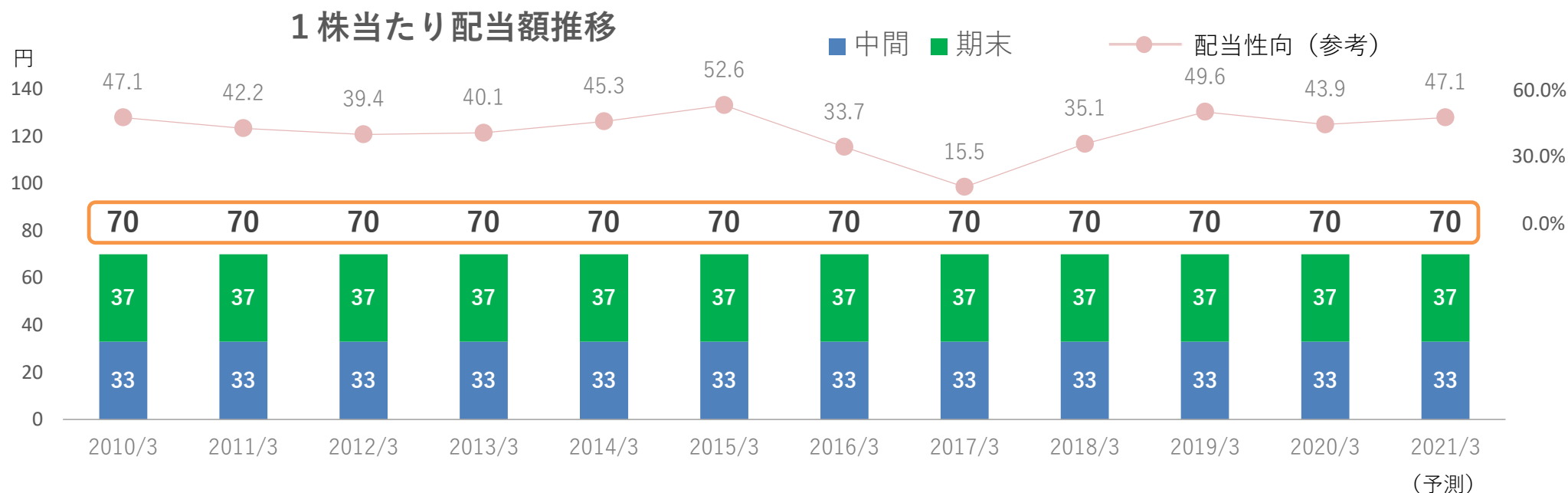


埼玉県を本拠地とするチームを地元の皆様と共に応援し、
スポーツの振興と地域の活性化に貢献して参ります。

7. 株主還元方針

配当政策

当社は、安定的な利益還元を目指しております。
今年度も必要な内部留保を維持しつつ、
将来の大成ラミックグループ全体の更なる発展に向けて投資・強化を図りながら
安定配当を継続していくことを基本方針とします。





【ご注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。従って、その達成や将来の業績を保証するものではありません。